

2023年、今年を「観光V字回復の年」に

# コロナへの道筋

出席者(順不同)

JTB社長 山北 栄二郎氏  
 KNT-CTホールディングス社長 米田 昭正氏  
 日本旅行社長 小谷野 悦光氏  
 東武トップツアーズ社長 百木田 康二氏

司会＝本社取締役編集長・森田淳

# 業界に薄日、今後の本格回復へ

## 旅館・ホテルなど観光業界挙げて再活性化目指す

新しい年、2023年を迎えた。今年、観光業界にとってどんな1年になるか。コロナ禍が足掛け4年となり、終息する気配はいまだ見えないが、「感染防止と経済活動の両立」に国がかしを切り、旅行を含めた人々のリアルな動きが止ま

## 22年の旅行業界の回顧



百木田氏

縮小されることはあったが、リアルに開催されるようになった。個人のお客さまもキャンセルをせず、予定通りにお出かけいただいた。



東京・芝「とうふ屋うかい」で

も長くしていること、予約から旅先の体験までの一連のサービスを、かなり進化させた。米田「予想だになかったことが連続して起きた1年だった。ロシアによるウクライナ侵攻は、これが21世紀の出来事かと思うほど、私が1990年、ちょうどアメリカに赴任していたときに起きた湾岸戦争以来の出来事となっている。

## “共存”の流れが確立 事業構造改革粛々と

山北 米田



山北氏

から確立された。今回の第8波でも、それほど大きな影響はないと見ている。社員は「お客さまが実感できる価値をつくるよう伝え、取り組んだ。デジタルの戦いで傷んでいる最中の戦

全国旅行支援の開始、水際対策の緩和など、旅行業界に薄日が差し始めている。国内旅行を中心に2022年の回顧を。山北「国内旅行がよいよ復活か、と」の思いでスタートしたのだが、新型コロナウイルスの第7波により、年間を通して数字の伸びが物足りなかったというのが一番の感想だ。これはほかの会社の皆さまも同じように感じてもらえると思う。

ただ、昨年は前年と大きく違うところがあった。これまでは感染拡大とともに旅行需要が冷え込むという繰り返しだったが、例えば修学旅行は確実に実施された。中止になっていたイベントも、規模が



能登半島和倉温泉より  
 謹んで新年のお慶びを  
 申し上げます

能登半島国定公園・和倉温泉  
 国際観光ホテル整備法 登録旅館(登録第177号)

**加賀屋**

〒926-0192 石川県七尾市和倉温泉 TEL 大代表 (0767) 62-1111  
 ●FAX (0767) 62-1121 https://www.kagaya.co.jp/ 加賀屋 加賀屋  
 加賀屋予約センター TEL (0767) 62-4111